

決算特別委員会の審査報告から 平成17年度芦屋市各会計決算を認定

第3回定例会最終日に提案があり、継続審査となっていました。平成17年度芦屋市各会計決算議案は、12月4日（月）の本会議で、決算特別委員会の都筑委員長から委員会の審査結果の報告を受け、表決を行った結果、賛成多数で認定しました。同時に委員会は、「平成19年度予算編成に対する要望」を市長に提出しました。委員会が出された意見、要望等を中心に概要をお知らせします。

決算特別委員会では、九月二十五日（月）の本会議終了後の委員会で、収入役から決算概要の説明を受けました。その後、十月十一日（水）から十三日（金）まで三日間にわたり精力的に決算内容の審査を行いました。審査の中で出された意見、要望の一部をお知らせします。

◆**総務費**では
・減債基金の積み立てでなく、福祉など生活支援を求める
・自主防災組織のネットワーク

◆**民生費**では
・市民負担が増えている医療費一部負担金を助成する福祉医療費助成制度の充実を
・大東町LSA事業で、生活援助員の夜間派遣の改善を
・児童虐待防止に向けた体制の充実を求める

◆**商工費**では
・南芦屋浜地区企業立地促進補助金は対象が外資系企業のみであり疑問だ

◆**土木費**では
・犯罪発生地点や学校周辺への公益灯の優先設置を
・道路補修費に予算を
・山手幹線など土木優先の予算配分を見直すべきだ

・国体の花いっぱい運動で、JR敷地内の花壇整備にまで、市が費用負担することはおかしい

・市が出資している都市管理株式会社社の経理内容などを明らかにすべき

平成19年度予算編成に対する要望

平成17年度決算審査を通じ、以下の事項について適切な措置を講ずるよう求める。

- 平成19年度以降の税制改正に伴う個人市民税の大幅な税収減は、本市の財政状況をさらに厳しくすることが予測される。予算編成に当たっては、国・県に対し本市の特殊な税収構造等について理解を求め、減収補てん措置が得られるよう最後まで最善の努力をすること。
- 上記事項については、その進捗状況を随時議会に報告すること。

以上、要望する。

決算特別委員会

付議事件の審議結果

※議案番号欄「議提」とあるのは、議員提出議案。

議案番号	件名	結果
70	17年度各会計決算の認定について	認定(12/4)
71	芦屋市議会議員定数条例改正について〔直接請求議案〕	否決(10/30)
73	教育委員会委員の任命	可決(12/4)
74	市附属機関の設置の条例の一部改正	可決(12/22)
75	市議会議員の報酬、費用弁償等の条例の一部改正	可決(12/22)
76	特別職で非常勤のもの報酬などの条例の一部改正	可決(12/22)
77	特別職で常勤のもの給与、旅費の条例の一部改正	可決(12/22)
78	教育長の給与、勤務条件の条例の一部改正	可決(12/22)
79	市の機関に出頭する者の実費弁償条例の一部改正	可決(12/22)
80	市営住宅の設置管理条例の一部改正	可決(12/22)
81	改良住宅の設置管理条例の一部改正	可決(12/22)
82	住市総住宅の設置管理条例の一部改正	可決(12/22)
83	留守家庭児童会条例の一部改正	可決(12/22)
84	市立みどり地域生活支援センター設置管理条例の制定	可決(12/22)
85	地区計画内の建築物制限に関する条例の一部改正	可決(12/22)
86	消防賞じゆつ条例・消防団公務災害条例の一部改正	可決(12/22)
87	消防団条例の一部改正	可決(12/22)
88	防災会議条例の一部改正	可決(12/22)
89	18年度一般会計補正予算（第4号）	可決(12/22)
90	18年度宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）	可決(12/22)
91	高浜町用地造成等業務委託契約の変更について	可決(12/22)
92	財産の処分について	可決(12/22)
93	後期高齢者医療広域連合の規約制定の協議について	可決(12/22)
94	市道路線の認定について	可決(12/22)
95	斜面地建築物の制限条例の一部改正〔直接請求議案〕	継続審査(12/22)
議提	40 北朝鮮の核実験実施に抗議する決議	可決(10/17)
議提	40 男女共同参画社会づくり条例の制定	継続審査(12/22)
議提	41 福祉医療費助成条例の一部改正	否決(12/22)
請願	36 議員定数を削減しないよう求める請願書	不採択(10/30)

◆**反対討論**では
・税金や土地売却などでの予期せぬ増収は、全額を借金

◆**消防費**では
・国民保護計画策定は自治体行政の軍事化で、憲法の理念にもそぐわない

◆**教育費**では
・奨学金制度を充実すべき
・国際理解教育で、各学校に
取り組みの差がある。教育
委員会の指導を明確に
・他市に比べて図書費が少な
い。充実を図るべきだ

・市の都合による文化振興財
団の解散は、市の文化行政
軽視の姿勢の現れで問題だ
・国体のカヌー艇庫は、解体
せず、市民が利用できるよ
う工夫すべきだ

人事案件

十二月四日（月）の本会議に、市長から人事案件の議案の提出があり、審議の結果、同意しましたので、紹介し
ます。（敬称略）

■**教育委員会委員（任期・四年）**
▽藤原 周三（ふじわら しゅうぞう） 神戸市垂水区在住

▽**幹事長** 来田 守
▽**副幹事長** 幣原 みや
山村 悦三
都筑 省三

▽**幹事長** 前田 辰一
▽**副幹事長** 山口みさえ

▽**幹事長** 伊藤とも子
▽**副幹事長** 小川 芳一

▽**幹事長** 松本 義昭
▽**副幹事長** 徳田 直彦

▽**幹事長** 帰山 和也
▽**副幹事長** 田原 俊彦

▽**幹事長** 平野 貞雄
▽**副幹事長** 木野下 章

▽**幹事長** 中島 健一
▽**副幹事長** 田中えみこ

会派の異動

平成十八年十二月十三日（水）、寺前議員がワークシ
ョップを退会し会派に属さな
い議員となりました。これに
伴い、十二月十五日の本会議
で、寺前議員が議会運営委員
会委員と行財政改革調査特別
委員会委員を辞任し、また、
畑中議員が議会改革調査特別
委員会委員を辞任し、議会運
営委員会委員に就任しました。
なお、寺前議員の議会運営委
員会委員辞任に伴い、十二月
十八日の議会運営委員会で、
松木議員が同委員会副委員長
に就任しました。

◆**創政クラブ**
▽**幹事長** 幣原 みや
▽**副幹事長** 山村 悦三
都筑 省三

◆**新社会党**
▽**幹事長** 前田 辰一
▽**副幹事長** 山口みさえ

◆**英明クラブ**
▽**幹事長** 松本 義昭
▽**副幹事長** 徳田 直彦

◆**公明党**
▽**幹事長** 帰山 和也
▽**副幹事長** 田原 俊彦

◆**日本共産党**
▽**幹事長** 平野 貞雄
▽**副幹事長** 木野下 章

◆**ワークシヨップ**
▽**幹事長** 畑中 俊彦
▽**副幹事長** 重村啓二郎
中島 健一

▽**幹事長** 青木 良三
▽**副幹事長** 長野 央

第2回定例会日程

平成19年第2回（3月）定例会は、平成19年2月20日（火）に招集され、3月19日（月）までの28日間で開催する予定です。日程については変更になることがありますので、ご了承ください。

議会改革調査特別委員会を設置しました 議員定数問題をはじめ議会改革について調査

平成18年12月4日（月）開催の本会議で議会改革調査特別委員会を設置しました。この委員会は、議員定数削減を求める住民の直接請求に基づく第4回臨時会（平成18年10月）で、多くの議員から議会の活性化を求める意見が出されたことを受けて、「議会活動に関する調査」を行うためのものです。

会の調査事項を出し合い、議員定数をはじめ議会改革について調査していくことを決定しました。

委員	都筑 省三
副委員長	重村啓二郎
委員	前田 辰一
委員	畑中 俊彦
委員	田中えみこ
委員	徳田 直彦
委員	青木 良三
委員	小川 芳一

（12月4日現在）



議会改革調査特別委員会風景